

科目区分	専門分野			科目番号	0902	曜日時間	不定期
授業科目	成人看護学援助論 I						
単位数	1 単位	時間	30 時間	開講時期	1 年次後期	授業形態	講義・演習
担当教員	谷山 礼明 ・ 餅原 悦子						
授業目的	呼吸機能及び循環機能障害が成人期の対象にあたる影響を理解し、呼吸機能及び循環機能障害をもつ成人の看護を学ぶ。						
中核	生命に直結する物質のやり取りを障害した対象への看護						
授業目標	<b>【呼吸機能障害、循環機能障害】</b> 1. 呼吸機能及び循環機能の障害が理解できる。 2. 呼吸機能及び循環機能の障害が人間の生命・生活に与える影響が理解できる。 3. 呼吸機能及び循環機能を障害された対象のアセスメントができる。 4. 呼吸機能及び循環機能障害をもつ成人の看護アプローチの方法が理解できる。						
授業の内容と方法	授業内容			授業方法	時間	担当	備考
	8	1. 呼吸機能の障害 1) 呼吸機能と役割 (呼吸機能とは何か、呼吸機能と生命・生活) 2) 呼吸機能障害 (換気機能障害、通気性維持・気道の浄化機能障害、肺胞ガス交換ガス機能障害) 2. 呼吸機能の障害が生活に及ぼす影響 (呼吸機能障害をもたらす生命・生活への影響) 3. 症状アセスメントと看護 (呼吸困難、咳・痰、胸痛) 4. 検査時のアセスメントと看護 (気管支鏡検査、胸腔穿刺、呼吸機能検査、動脈血ガス分析検査) 5. 治療時のアセスメントと看護 (酸素療法、非侵襲的陽圧換気、侵襲的陽圧換気、抗アレルギー薬・気管支拡張薬・副腎皮質ステロイドによる治療) ネブライザーデモンストレーション 6. 呼吸機能障害ある対象への援助 (病態にあわせた口腔ケア) 7. 肺がんで呼吸機能に障害がある人の看護	講義 演習	16	谷山 礼明		
	7	1. 循環機能の障害 1) 循環機能と役割 (循環機能とは何か、循環機能と生命・生活) 2) 循環機能障害 (ポンプ機能障害、輸送環流機能障害) 2. 循環機能の障害が生活に及ぼす影響 (循環機能障害をもたらす生命・生活への影響) 3. 緊急性と重症性のアセスメント (ショック、心不全、不整脈、胸痛) 4. 救急時の看護 5. 検査時のアセスメントと看護 (心臓カテーテル検査、心血管造影検査心電図・心エコー検査、動脈ライン) 6. 治療時のアセスメントと看護 (経皮的冠動脈形成術、経皮的冠動脈バイパス術、血栓溶解療法・血栓除去術) 心臓リハビリ (デモ) 7. 心筋梗塞で循環機能に障害がある対象の看護	講義 演習	14	餅原 悦子		
終了後課題							
評価計画方法	筆記試験、授業中の態度から総合的に評価する。						
テキスト 参考図書	川村雅文ほか：系統看護学講座 専門分野 成人看護学[2]呼吸器【電子版】，医学書院 古田俊子ほか：系統看護学講座 専門分野 成人看護学[3]循環器【電子版】，医学書院						
実務歴有	看護師						
講義への反映							
備考							